



次世代へつなぐ強靱で安心な水道を目指して！

広報山武水道

発行：企画財政課企画班
〒283-0062
東金市家徳 361-8
☎0475 (55) 7851 (代表)
<http://www.water-sansui-ki.jp>
ホームページは「山武水道」で検索
e-mail:kikaku@water-sansui-ki.jp



平成28年度決算の概要

平成29年8月23日に開催されました企業団議会において、平成28年度の決算が次のとおり認定されました。

■決算の概要

平成28年度は、平成28年3月に策定した「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」（平成28～37年度）の初年度にあたり、基本理念である次世代へつなぐ強靱で安心な水道を実現するため、計画に掲げる事業を着実に推進しながら、安全で安心な水道水の安定供給に努めてまいりました。

■業務状況

給水人口は16万351人で、普及率は93.1%です。
年間総給水量は1,836万918m³で、前年度と比較して27万6,135m³の減、年間有収水量は1,665万2,731m³で10万2,862m³の減となり、この結果、有収率は前年度に対して0.8ポイント上昇し90.7%となりました。

■主要な建設改良事業

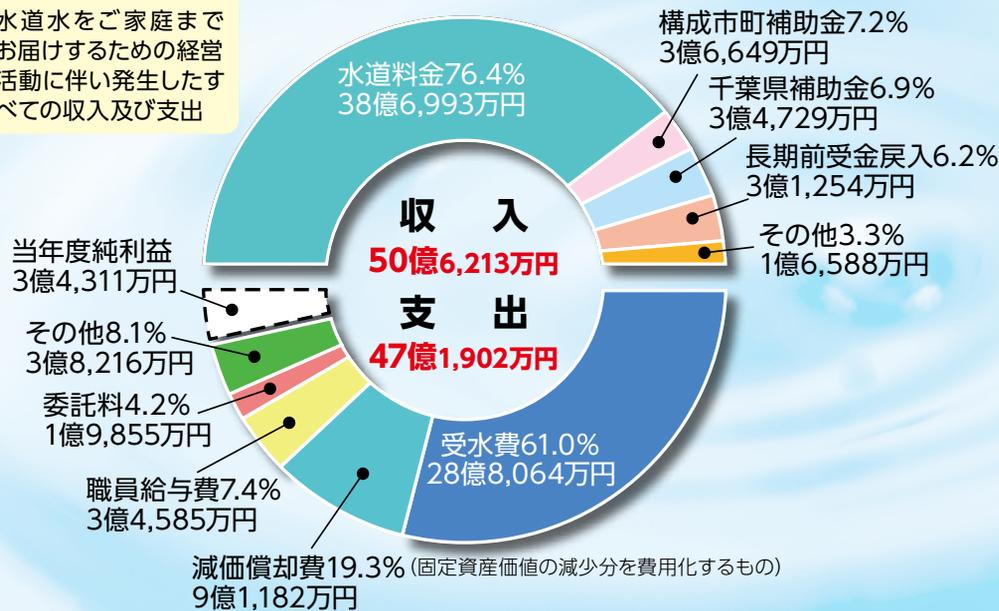
基幹管路及び重要給水施設配水管耐震化工事、配水管布設及び移設工事を行い、5億5,122万円を支出し、延べ5,644.4mの配水管を整備したほか、東金配水場遠方監視制御設備更新工事、松尾配水場電気設備更新工事、松尾配水場次亜塩素酸注入設備更新工事及び事務局高圧受変電設備更新工事を行い、3億2,399万円を支出しました。

■財政状況

収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）は、総収益が50億6,213万円、総費用が47億1,902万円です。当年度純利益3億4,311万円を計上しました。
資本的収支（消費税及び地方消費税込み）は、国庫補助金及び工事負担金の7,978万円を財源として、建設改良費等に11億280万円を支出し、不足額10億2,302万円は内部留保資金などで補てんしました。

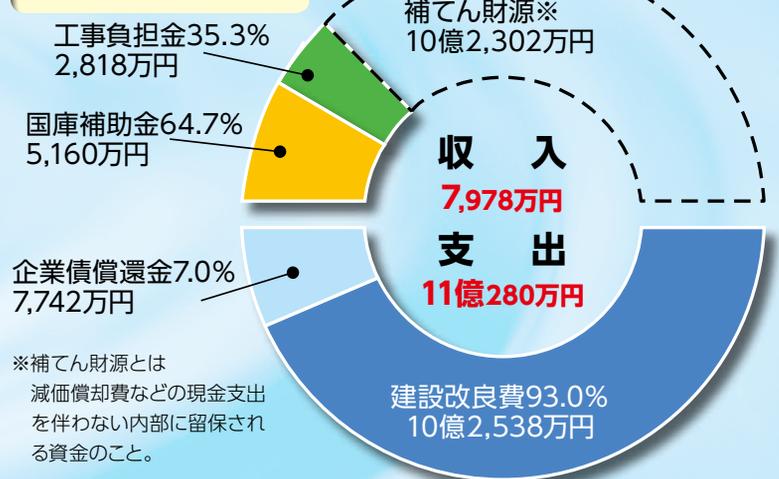
収益的収支

水道水をご家庭までお届けするための経営活動に伴い発生したすべての収入及び支出



資本的収支

水道施設を建設・改良するために要した収入及び支出



以上が決算の概況でございますが、今後とも社会経済情勢の変化による水需要の動向等を見据えながら、経営の健全化を推進していくとともに、より質の高い給水サービスの実現を目指し、なお一層の経営努力を重ねてまいります。

数字でみる山武地域の水道

[平成28年度]

●給水人口	160,351人 (前年度比746人減↓)
●給水戸数	64,150戸 (前年度比625戸増↑)
●普及率	93.1%
●年間総給水量	18,360,918m ³ (前年度比276,135m ³ 減↓)
●一日平均給水量	50,304m ³
●水道管総延長	約1,426km
●配水場数	4か所 (配水池数13池)

給水人口が減っているのに、なぜ給水戸数は増えているの？

多世代が同居する大家族が減り、核家族や一人暮らしの方が増えているようです。

年間総給水量が減っているのは、給水人口が減っているから？

そのとおりです。10年前の年間総給水量と比べますと約56万m³減少しております。

水道管の総延長1,426kmはどのくらいの長さなの？

直線距離で千葉県から沖縄県までとほぼ同じ距離です。給水人口1人当たり約9mの水道管を支えていることとなります。